

エンド・オブ・オール・ウォーズ (2001)

TO END ALL WARS

メディア 映画

ジャンル 戦争 ドラマ

製作国 アメリカ／イギリス／タイ

時間 117分

【解説】

ロングベストセラー小説『クワイ河収容所』を映画化。第2次大戦で日本軍の捕虜になったスコットランド軍人たちの苦境からの奮闘を描く人間ドラマ。1941年。太平洋戦争。小さなスコットランド部隊が日本軍に捕らえられ、ビルマに強制収容された。そこでは“死の鉄道”敷設工事のため強制労働を余儀なくされる。彼らはそれぞれ生きるための行動に出るが…。

【クレジット】

監督	デヴィッド・L・カニングガム	David L. Cunningham	
製作	デヴィッド・L・カニングガム	David L. Cunningham	
	ジャック・ヘイファー		
	ナヴァ・レヴィン	Nava Levin	
製作総指揮	グレッグ・ニューマン	Greg Newman	
	ジョン・クエステッド	John Quested	
	スコット・ウォルチェック		
原作	アーネスト・ゴードン		『クワイ河収容所』ちくま学芸文庫刊
脚本	ブライアン・ゴダワ	Brian Godawa	
撮影	グレッグ・ガーディナー	Greg Gardiner	
音楽	ジョン・キャメロン	John Cameron	
	トレヴァー・ジョーンズ	Trevor Jones	
出演	ロバート・カーライル	Robert Carlyle	
	キーファー・サザーランド	Kiefer Sutherland	
	シアラン・マクメナミン		
	マーク・ストロング	Mark Strong	
	木村栄		
	油井昌由樹		
	ジェームズ・コスモ	James Cosmo	
	佐生有語		
	グレッグ・エリス	Greg Ellis	